

★★★★

奥村政治のメールマガジン

第 10 号:2021 年 12 月 14 日発行

<https://www.1project-support.com>

☆☆☆☆

最後に残ったものは何？

日誌を書いているのですが、余白を使って自問自答することがあります。

ちょっと前にやったことは「削ること」ですね。自分にまわりついている様々なスキル、ノウハウ、資格等、削っていきました。

例えば、中小企業診断士という資格。初対面の方と名刺交換する際、僕の名刺に「中小企業診断士」と書かれているのをみて、相手は「診断士かあ〜」と思い、特別に怪しいと思うことはないはずです。

しかし「マーケティングコンサルタント」と表記されているだけであれば、「マーケティングコンサルタントって何？」と思い、何か怪しいかもしれないと警戒されるのです。

診断士だけの名刺、コンサルタントだけの名刺で名刺交換の実験をした結果、コンサルタントだけの名刺を見た方の態度が明らかに違っていました。「こいつ何者？」みたいな目で観られましたね。

なので、診断士の資格は、初対面の方との名刺交換には使えますが、それ以外に使い道はないですね。冒頭の削るか削らないか言えば、削るカテゴリーに入ります。

まあこんな形でどんだんの削っていきました！

その結果、残ったモノは2つだけ。
一つはライティングで、もう一つはアイデアです。

ライティング、つまり文章を書くことが得意というわけではありません。ただ、コンサルの仕事は、ほぼライティングであったと断言できます。

チラシやダイレクトメールといった販促ツール、公的施策の申請書、マスコミに送付するプレスリリース、他にもセミナーのレジュメ、顧問先の訪問資料など、たくさんの種類の文章を書いてきました。

中小企業さんが書くべき公的施策の申請書を、ゴーストライターとして書いたことも数々ありました。表向きは中小企業さんが書いたモノを、指導(添削とか)して、申請書を仕上げている、と言っておりました。

実態は、そこまでの能力とやる気を持つ中小企業さんは少ないですし、指導の名目でやり取りしても全然進まないのので、僕が書いていたわけです。

もう一つのアイデアですが、自分に適用した場合もありますし、クライアントさんに使ったこともあります。制約のある中で、どんなことをやればいいのか、根幹になるアイデアを創って具体化していきました。

アイデアは机に座って出てくることはありませんでした。仕事とは関係ないことやっている時に「あっ！これ面白い！！」と感じで浮かんでくるのです。忘れないうちに、その辺にある紙にキーワード、仕組み、流れ(フローチャート)、具体化した時の絵などを書いて(描いて)いましたね。

このメルマガを書きながら、ライティングとアイデアは左脳と右脳だなあと感じました。勿論、左脳はライティングで右脳はアイデアです。過去に両者が手を取り合ったときには、面白い試みが誕生しています。

ということで、右手にライティング、左手にアイデアという刀をもって、これからの不透明な世の中を渡っていきます。

ちなみに右手は左脳につながり、左手は右脳につながっています。上記の解説ですね。

皆さんも是非、自問自答して、自分を削って最後に何が残るを観てください！

=====
オクムラ経営コンサルティングオフィス
メルマガ編集部
発行人: 中小企業診断士 奥村政治

〒571-0047 門真市栄町 6-9 門真プラザ 610 号
TEL: 06-6991-9627
メール: info@1project-support.com
<https://www.1project-support.com>
=====